

2022年度事業計画

公益財団法人豊田市国際交流協会（TIA）は、1988年10月の設立以来「国際化の主役は市民である」の理念の下、国際交流・国際理解・多文化共生を三本柱とし、地域の国際化を推進しています。

2022年度は、原点に立ち返り、市民一人ひとりが互いの違いを知り認め合い尊重する地球市民であることを認識する取組として、（仮）地球市民文化祭や（仮）キッズフェスティバルなどの事業を通じて、次代を担う子どもたちや若者をはじめとした誰もが、国際交流・国際理解・多文化共生に主体的に関わることで、考え、感じることのできる活動を重点に進めてまいります。

また、外国人住民同士などがお互いに支え合い、共通する課題に関する情報の共有や解決に向けた取組等につながるよう、これまでの地球市民会議を発展させ、自国の人同士のコミュニティづくりやネットワークの強化につながる活動を支援してまいります。そのような取組を通じて、誰もが暮らしやすい「多文化共生」のまちづくりにつなげてまいります。

当協会の活動を支えていただいているボランティア、賛助会員、関係団体の皆様に引き続きご理解とご支援をいただけるよう努めてまいります。

公益目的事業 1

地域と諸外国との相互理解と友好親善を深めるための国際交流と国際協力に関する事業

【国際交流】

（1）国際親善使節の受入

豊田市を訪れる国際親善使節を受け入れ、市民と交流の機会を持ち、相互理解と友好親善を深めます。

（2）ナショナルデーの開催

とよたグローバルスクエアや市内の施設にて、世界各国の文化や生活を紹介し、外国人住民と日本人住民とが交流する機会をより充実させながら、市民主体の国際交流の継承と発展に寄与します。

（3）「国際の日」事業の開催

ア TIAが設立された10月1日を「国際の日」として、市民一人ひとりが豊田市の一員であると同時に、国際社会の一員であることを意識し、行動することができるための事業を行います。

イ （仮）キッズフェスティバルの開催（新規）

様々な文化的背景を持つ子どもたちが集い、主体的に楽しみながら共に企画運営するフェスティバルを開催することで、相互の理解と交流を深めます。

時期：2022年10月頃

対象：市内在住の子どもたち

(4) 地域の国際交流に関するイベントなどへの協力・支援事業

諸外国との相互理解と友好親善を深められるように、市内の各種団体と共に事業を開催し、交流の多様化を図ります。

ア クリスマスマーケットの開催

市内の各種団体と共に事業を開催することで、都市の国際化とにぎわいのあるまちづくりに貢献します。

イ (仮) インドネシアフェスティバルへの協力・支援

市内在住の多くのインドネシア出身者が集い交流することで、自国出身の人たち同士のさらなるネットワークの強化を図るとともに、日本人を始めとした色々な国の人との交流の場とする取組への支援を行います。

時期：2022年5月～8月頃

【国際協力】

(5) 国際協力機構（JICA）ボランティア説明会支援事業

JICAと連携し、海外ボランティアに興味を持つ市民への情報提供の場とします。

公益目的事業2

地域の国際化を推進するための人材の育成と地域の市民活動への支援に関する事業

【人材育成】

(1) ボランティア登録・育成・紹介事業

国際交流、国際理解教育、多文化共生の分野で活動したいと考えている人材をボランティアとして登録し、ニーズに応じた活動を展開します。また、登録者及び一般市民のボランティア活動に対する意識向上を図る事業を開催します。さらに、今後外国人コミュニティでの活動が見込まれる新規のグループの立上げに向けた支援の充実を目指します。

ア 個人ボランティア

にほんごひろばボランティア

通訳・翻訳ボランティア

災害サポートボランティア

おもてなし英語ガイドボランティア

ホームステイ・ビジットボランティア

イ グループボランティア

国際交流

E - I F F

英語ボランティア G L O B

オープンハート

日本文化紹介グループ

豊田外国人おもてなしガイドネットワーク

多文化共生

A l p h a 日本語教室

日本語サロン
トルシーダ
にほんごドットＪＰ
チェ ベトナム
国際協力 Child Needs Home

(2) ボランティア意見交換会の開催

ＴＩＡの事業やボランティアグループの活動の情報共有・課題解決に向けてボランティア総会を開催します。ＴＩＡの諸事業への参加・参画をグループのメンバーに促すとともに、ボランティア活動の環境整備に努めます。

(3) 国際理解教育

地球規模の様々な問題への理解を深め、その解決に向けて、実践的な行動を起こすことができる地球市民を育成することを狙いとした啓発事業を開催します。また、将来の豊田市の国際化を担う子どもの国際感覚を育むことを目的に、異なる文化的な背景を持つ多様な人々に対して共感できる気持ちを育むことを主眼とした活動や授業を開催します。

ア 国際理解教育セミナー

地球規模の様々な課題への理解を深め、その解決に向けて、実践的な行動を起こすことができる地球市民を育成することを狙いとしたセミナーを開催します。特に若い世代を対象として、国際やＳＤＧｓへの理解を深めるディスカッション等積極的な参画の場を設けます。

対象：小学４年生～大人

イ こども国際クラブ

１年間の活動を通じて、海外出身の講師等から世界の文化や言語、社会問題などを知ることで、互いの違いを認め尊重する国際人としての基礎を学びます。

対象：小学４年生～６年生

ウ 国際理解教育授業の支援

国際理解教育授業の内容の相談や教材の貸出し等のほか、テーマにより海外出身の講師の調整やＴＩＡ職員が講師となり授業を支援します。

対象：豊田市内の小・中・特別支援学校

エ (仮) 若者の国際フォーラムinとよたの開催(新規)

国際課題等をテーマにしたディスカッションなどによる交流を通じて、若者の国際理解を推進します。

対象：学生を中心とした若者

(4) 外国語講座

ア 母語保持教室

中国語及びポルトガル語などの保持を希望する子どもを対象に、中国語及びポルトガル語などの教室を開催するとともに、保護者のネットワーク形成を目指します。

イ 英語保持教室

海外から帰国した英語の保持を希望する小学3年生から6年生を対象に、英語保持活動を行う教室を開催します。

【市民活動支援】

(5) 草の根の国際交流の推進

国際交流・国際協力・多文化共生などに関する情報や意見の交換の場を持ちます。また、2021年度は、「地球市民会議」と連携して外国人同士が助けあい、住みよいまちづくりを進めていくためのネットワークづくりに向けた活動を進めます。

ア 豊田市地球市民会議の活動の促進

来日間もない外国人住民などを含め、誰一人とり残さないよう、地域の外国人コミュニティが外国人住民同士のつながりを強化する取組を支援します。

対象：地域における外国人住民

イ (仮) 地球市民文化祭の開催(新規)

様々な国の人が集い、それぞれの文化の体験を通じて相互の理解と交流を深めるための事業を行います。

対象：市民

ウ (仮) マイカントリーデー

様々な文化的背景を持つ市民やそのグループが出身地等の文化や生活習慣などを紹介する取組を支援することで、地域の多文化共生を推進します。

(6) とよたグローバルスクエア運営事業

地域の国際交流の拠点として、国際交流や海外に関する情報の提供、在住及び、来訪外国人への生活やイベント、観光地などに関する情報の提供・各種相談への対応をします。さらに、日本人と外国人との交流を深める場、ボランティア活動の場としても、とよたグローバルスクエアを運営します。

ア 施設利用の促進

国際交流・国際理解・多文化共生に関する市民、ボランティア、団体等の活動や各種情報の提供、また、帰国や出国する児童・生徒とその保護者を対象とした相談など、国際に関する相談の場として、広く活用される地域の拠点をめざします。

公益目的事業 3

外国人と共に暮らす多文化共生社会の実現に向けた事業

【多文化共生】

(1) とよた日本語学習支援システム運営事業

名古屋大学が開発した「とよた日本語学習支援システム」の運営を継続し、豊田市と協力しながら、外国人住民に対する日本語学習を支援します。

対象：日本語の会話、読み書きができない外国人

(2) 日本語講座

ア 外国人住民が日本人と円滑なコミュニケーションを図り、充実した日常生活を送ることができるよう、とよた日本語学習支援システムのカリキュラムを導入した入門から初級レベルの日本語教室を開催します。来所が困難な学習者向けに、オンライン参加にも対応し、より多くの学習者に対して、日本語を学ぶ機会を提供します。

イ 豊田市内で開催されている日本語教室との連携を図り、教室の情報を多言語で提供します。また、日本語教室の立ち上げを希望するボランティアを発掘し、日本語を学びたい外国人とのマッチングを促進するとともに、日本語教室開催のサポートを行い、市全体としての日本語支援の底上げを目指します。

(3) 多言語相談事業

ア 各種団体と連携しながら、外国人住民が抱える様々な分野の相談に応じ、多文化共生のまちづくりを推進します。英語・ポルトガル語及び中国語での相談窓口を開設し、運営します。

イ 海外から帰国した、あるいは海外へ出国する児童・生徒とその保護者を対象とした相談窓口を開設し、運営します。

(4) 通訳派遣事業

外国人住民が生活する上で、人道・人権問題、福祉・保健・医療・教育に関わる諸手続などに通訳補助が必要な場合、豊田市役所の管轄部署を通して、通訳者を派遣します。このほか、公共性の高い事業へも通訳者の紹介をします。

(5) 翻訳事業

市役所各部署からの翻訳依頼に対応します。また、外国人住民が生活する上で有益な情報（行政手続・福祉・医療・防災等に関するものなど）を調査・選別して翻訳をし、TIA ホームページ上の専用ページ等に定期的に更新し、在住外国人に情報を提供します。

(6) 豊田市外国人災害サポートボランティア支援

災害時において、豊田市が実施する外国人住民への支援を円滑に行うボランティアを市と協力して育成し、多言語話者の登録の更なる増加につなげます。

対象：日本語及び外国語でコミュニケーションができる市民

(7) 外国人こども教育支援事業

外国にルーツを持ち、学習支援の場を求める子どもたちの通うNPO法人や小学校の放課後学習支援クラスに対し、ポルトガル語の通訳・翻訳スタッフを派遣することにより、子どもたちの教育環境の改善に努めます。また、派遣を通して派遣先諸団体とTIAとの連携を図ります。

公益目的事業4

国際交流、国際協力及び多文化共生を推進するための情報を提供する事業

【情報提供】

(1) TIA機関誌発行事業

国際交流・国際理解教育・多文化共生に関するTIAの事業報告書を発行し、国際交流の推進とTIAに対する協力支援を得るため、県内国際交流担当部署・市内各種国際交流団体・TIA賛助会員・関係者及び一般市民に配布します。

時期：2022年7月（年1回）

(2) TIAの情報提供

ア TIAホームページの運営

多言語による情報提供について、外国語に堪能な相談員を活用し、提供できる情報の量と質の拡充を図ります。また、ソーシャルネットワーキングサービスを有効に活用し、市民への情報提供を強化します。

イ 多言語情報発信

日本語の理解が十分ではない外国人住民に向け、日常生活に必要な情報をタイムリーに多言語で発信します。

対象：外国人住民

ウ ウェブメディアによる情報発信

TIAホームページやSNS等を積極的に活用し、TIAの事業やボランティア活動などの情報の発信を行います。

管理部門

各事業において業務の一層の効率化や正確性が求められる中、事業が滞りなく遂行できるよう、総務及び経理業務においても効率化を図り、より正確で迅速な事務対応を目指します。また、継続して2023年度以降の事業計画の見直しを進めます。